

実践での教材（本のまとめ+教材研究を加える・調べたこと+もっと発展した場合）2-3
① 4

「楽しいクラスは、成長できるクラス」を目指して

1年生の時、手のかかる子たちでなかなか担任が決まらなかったクラスを、担当することになった先生。まず方針を立てて、学級開きから児童たちを惹きつける。子どもたちに安心感を持ってもらい、これから的生活に期待を持たせる、というめあてに則って、教室に入り早速「くまさん、くまさん」「ウルトラマン、シュワッヂ」などのゲームをする。「コイちゃん」という人形を上手く使って、約束事を提示するのが素晴らしい。「コイちゃんが手をたたいたらどんなことをしていても止めて、口許を見る…」「コイちゃんの言うことを一言も聞き漏らさないで…何秒で出来るか？少しずつ短くしていこうね」など、決まり事を楽しく守ることが出来るように工夫されている。また、「黄金のリンゴがなる樹」を教室の前に掲示して、みんながルールを守ったらリンゴを実らせ、3つ出来たらレクリエーションをする、という取り組みも行って児童を褒めること、ご褒美を与えることで意欲を引き出している。学級内クラブを作る、というのも私が今まで聞いたことない取り組みで、それによって子どもたちが自主的・主体的に活動することが期待できる。

幼・保でやるとすればどのような題材になるか、なにがねらえるか

「コイちゃん」のようにクラスのマスコットキャラクターのようなものを作って、「○○ちゃんと一緒にお話し聞こうね」などと興味をひくことで、少しでも話に集中させたり、先生のほうに注目させたりすることができるだろう。この先生のように、目立つ子を「困った子」ではなく「困っている子」と捉えることで、その子の困っていることはどんなことなのか、それを排除するにはどんな支援が必要なのか、など工夫すべき点も見えてくるのではないかと考える。

参考文献

実践での教材（本のまとめ+教材研究を加える・調べたこと+もっと発展した場合） ②

- ・昨年、手のかかる子の多い1年生を担当することになった私。話の聞けない子、席に座っていられない、気に入らないことがあると延々と泣き叫ぶ子がいて、思い浮かべると憂鬱になった。そのため方針らしきものを立てた。
- ・仲間と力を合わせて、質の高い学級文化や生活を作り出す。その楽しさを知らせる。遊びを中心。（互いに協力し合うことに喜びを感じられる。）
- ・話し合う力、自治の力を育てる。問題解決や行事の取り組みなどで、子どもたちが、自分たちで進めていけるようにする。（思考力・行動力が身につく）
- ・学習の協同化を目指す。学習集団を育てる。学習のルールを子どもたちと話し合いながら確立していく。また、確認を深めていくように授業をみんなで創る。「楽しく、わかる」授業を目指す。（規律を守り、みんなと仲良く楽しむことができる。）
- ・保護者とのつながりを創り出す。一緒に育ち合うという考え方。（保護者と連携することは大切で互いに成長していける）

身体的にも心でもある

- 幼・保でやるとすればどのような題材になるか、なにがねらえるか
 友達と協力することで、ともに楽しみ遊ぶ。（協力・絆・楽しさを実感）
- △
- 園児たちが考え遊べるようにする。（思考力・発見・気づき）
- 遊びの中でルールを守らせる。（理解力）
- 保護者との連携。（情報交換・互いに学び合うことができる）
- 自分たちで考える。（達成感を感じることができる）

どうぞ。

参考文献

遊び重視の園

https://benesse.jp/contents/ikuji/school/pointo/jusi/post_1031.html

保育現場の働き方改革を進めよう。

<http://hoiku-support.info/nerai-mokuhyou-tigai-765>

実践での教材（本のまとめ+教材研究を加える・調べたこと+もっと発展した場合）②

この実践記録は、新学期（2年1組のクラス）が始まり、学級経営されていく過程が書かれている。この学年は、1年生の頃、手のかかる子の多かった学年である。担任となつた先生が、始業式の担任発表から学級開きを終え、学級が動き出すために様々な工夫がこなされている。

まずはルールを作ることである。「…ハイ！って言ってパチン！と手をたたいたら、何をしても止めて、…口元を見る。…」から、先生の話を聞くことができるよう学級経営している。達成できた喜びが味わえるように、“ごほうび”を作り、学級が一体となるようしている。また、子ども達の直接の声を聞いて、学級の目標を作っている。そして、子ども達が考えたことを、学級の活動として取り入れている。

子ども達の、多様な経験や体験を大切にし、子ども達と一緒に活動をすることで共感的な理解ができる。これまでのこととに目を背けるのではなく、これまでの成長過程で身につけたことの上に、更に積み上げていくようとする。

幼・保でやるとすればどのような題材になるか、なにがねらえるか

幼・保では、子ども達の「先生これ見て！」ということばを大切にする。それが、家で作ってきた作品ならば、クラスで発表する時間を作る。また、園庭で見つけた虫ならば、その虫をクラスで飼うことはできないか考えてみる。

それにより、自己が出せるクラスの環境に変化し、やがて、一つのクラスとして成長することが出来る。

参考文献

http://www.jpecr.or.jp/publication/pub-data/kyou/h21_38/t1-3.html

実践での教材（本のまとめ+教材研究を加える・調べたこと+もっと発展した場合） ④

・昨年、1年生の生活科にT、Tで出ていた。話を聞けない、椅子に座っていられない、気に入らないことがあると延々と泣き叫ぶ子がいる……子どもたちの様子を思い浮かべると憂鬱になった。そして新年度、担任することになり、昨年のようにならないよう方針を立てた。

<年間のめあて>

- ・仲間と力を合わせて、質の高い学級文化や生活を創り出す。その楽しさを知らせる。遊びを中心に。⇒学級の中で「友情」や「絆」が深まる
- ・話し合う力、自治の力を育てる。問題解決や行事の取り組みなどで、子どもたちが、自分たちで進めていけるようにする。⇒「進行力」・「行動力」が身に付く
- ・学習の協同化を目指す。学習集団を育てる。学習のルールを子どもたちと話し合いながら確立していく。また、認識を深めていくような授業をみんなで創る。「楽しく、わかる」授業を目指す。⇒「興味」・「関心」・「意欲」・「態度」、「理解力」が高まる
- ・保護者とのつながりを創り出す。一緒に育ち合うという考え方で。⇒互いに成長し合う
※他にも、班・リーダー・討議つくりや授業づくり、保護者との関係づくりの見通しや、年間、明日、明後日の計画、当面の課題などを考えた。 一

幼・保でやるとすればどのような題材になるか、なにがねらえるか

- ・友だちと力を合わせて、楽しさを共有できる遊び。⇒「友情」、「絆」が深まる
- ・園児たちが自分たちで様々な遊びを発見する。⇒「発見力」、「冒険力」が身に付く
- ・遊びのルールを理解し、「楽しく、わかる」を味わう。⇒「好奇心」、「理解力」が高まる
- ・保護者と一緒に遊ぶ。⇒「互いに学び、成長し合う」
- ・様々な遊びの役割を園児たちが選ぶ。⇒「達成感」を得る

参考文献

- ・方針の意味とは？目標・目的・指針・戦略との違いを簡単に解説！
⇒<http://ikikatadatabase.com/archives/7039>
- ・希望をつむぐ教育一人間の育ちとくらしを問い合わせ直す 単行本 - 2018/8/1
⇒行田 稔彦（著）、渡辺 恵津子（著）、田村 真広（著）、加藤 聰一（著）